

# 地域支え合い活動トピックス

2018-09 ②  
流山市社会福祉課  
健康福祉政策室  
☎7150-6079

2016年度（H27）に、地域支え合い活動がスタートして、4年目に入りました。2018年8月現在、89自治会で行われている様々な取組みの一部をご紹介します。

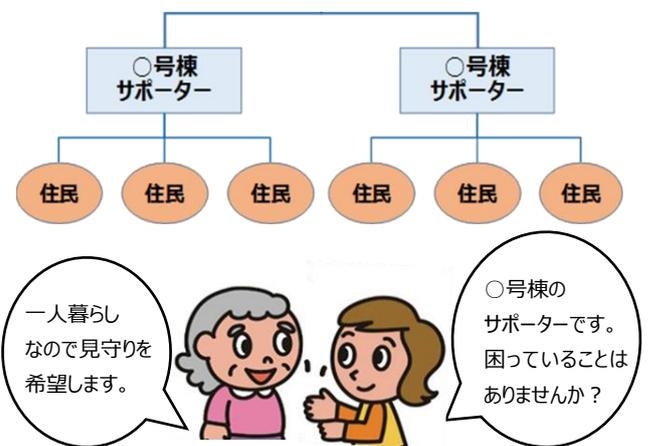
## 高齢者だけでなく、地域・子供の安全も 北自治会（H28～）【北部地区】



- ・自治会のみなさんで、登下校する子どもたちに付き添い、交通安全の見守りや通学路のパトロールを行っています。その途中、見守りを希望する高齢者の見守りをしています。
- ・高齢者の見守りは、互いに負担にならないよう、外部からさりげなく行っています。
- ・活動の際に着用するベストや帽子を活動時に限らず、普段のちょっとした外出の時にも身に着けることで、子どもや高齢者だけでなく、地域全体の防犯にもつながっています。

## 継続しやすい見守り活動の工夫 江戸川台小田急ハイツ自治会（H28～）【北部地区】

- ・「小田急ハイツさぽーとネット」を組織し、ボランティアの住民がサポーターとして、困りごとの相談を受けたり、出来る範囲のお手伝いをしています。
- ・互いに相談や見守りがしやすいよう、サポーターを棟ごとに決めて配置し、同じ人が継続的に見守り活動をしています。
- ・定期的なおたよりで高齢者が知っておきたい事や見守りに関する情報も発信しています。



**トピックスに掲載する事例を募集しています。（自薦他薦は問いません）**

紙面に限りがあるため紹介事例は、地域でのたくさんの取組みのうち、ごく一部です。ご理解のほどよろしくお願い致します。

# 平成29年度支え合い活動状況報告書から、主な活動実績をまとめました

活動内容	活動自治会数
<b>1 外部からの異変発見活動</b>	<b>63</b>
・郵便受け・電灯・雨戸に異変がないかをパトロールする。 ・対象者の向こう3軒両隣で、日々の生活を通して異常・異変の確認	
<b>2 訪問・安否確認・声かけ</b>	<b>34</b>
・自治会役員と見守りグループが協力して、定期的に訪問・声かけを行う ・民生委員と共同して見守り・声かけを行う ・安否確認の合図を決めて定期的に確認する(窓の開閉、タオルを掛けるなど)。	
<b>3 サロン活動やイベントなどの交流会</b>	<b>60</b>
・敬老会や高齢者サロンなどにお誘いし、付き添いで参加する ・夏祭り、高齢者ふれあい会食会、介護予防体操などの行事を定期開催 ・「高齢者ふれあいの家」を利用した交流	
<b>4 日頃の自治会活動を利用した活動</b>	<b>41</b>
・自治会費の集金、回覧板、清掃活動等の機会を活用した声かけ ・回覧板は必ず手渡しで行い、顔の見える関係・顔を見る機会をつくる ・防犯パトロール時に対象者に異変がないか外部から見守る	
<b>5 支え合い体制の構築・地域情報の把握・共有</b>	<b>32</b>
・自治会の支え合いマップと民生委員の情報を共有する ・支え合い活動推進員の選任や警察、地域包括支援センターとの連携 ・定期的に支え合い活動関係者で会議を開き、情報共有を行う	
<b>6 困りごと相談・日常生活支援</b>	<b>13</b>
・介護保険の総合事業により、ワンコインのお手伝い事業を実施する ・困り事の相談、簡単なお手伝い、話し相手(専門機関への橋渡し)	
<b>7 災害時の避難支援のための活動</b>	<b>36</b>
・年1回の防災訓練へのお誘い、訓練当日の安否確認の為の訪問など ・災害時に利用できる防災用品・救急セット・救助笛の配布	
<b>8 その他</b>	<b>48</b>
・日常的なあいさつ、声かけの励行・周知など ・居住者の家族構成などの状況調査アンケートを実施する	
<b>9 個別計画の対応</b>	<b>35自治会・742人</b>
個別の支援者を決めての見守り	35自治会
避難時の対応について個別名簿を作成	8自治会
災害時の配慮事項について把握	12自治会

支え合い活動の基本は「無理なく取り組めるところから」です！

ながいき100歳体操や各種講座の講師を派遣しています。ぜひご利用ください！

具体的な活動の進め方や見守りの方法について、「地域支え合い活動の手引き」を作成し、お配りしています。

救急情報セット・救助笛を市で無料配布しています。緊急時・災害時に備えて身体の状態・病気や薬、緊急連絡先などの情報を書いておきましょう。



救急情報セット

## 北部高齢者なんでも相談室（北部地域包括支援センター）石川センター長からひとこと



北部高齢者なんでも相談室のみなさん

- ・これからの季節の変わり目は体調を崩しやすくなりますので、気を付けてください。
- ・一人暮らしの高齢者の方は困ったことがあっても、自分から「助けて」と言いづらいこともあります。そのような方でも、地域の見守りから福祉サービスにつなげることができたケースがありました。
- ・これからも地域で連携した見守りをお願いします。気になることがあれば私たちに相談してください。